

教職課程ポートフォリオ

(履修カルテ)



教職課程センター

入学年度	(西暦) 年
学 部 学 科	未来工学部 データサイエンス学科
学籍番号	—
氏 名	

目 次

1. 教職課程ポートフォリオ（履修カルテ）について	1
2. 教職課程に関する履修科目の振り返り （教育の基礎的理解に関する科目等、教科の指導法）	2
3. 自己評価シート（求められる教員としての資質能力に対する自己評価）	9
4. 介護等体験（中免のみ対象）	1 1
5. 教職に係る正課外活動	1 2
6. 教職を目指す上で課題と考えている事項	1 3

1. 教職課程ポートフォリオ（履修カルテ）について

教職課程履修者には、教職課程ポートフォリオ（履修カルテ）の作成が義務付けられています。教職課程ポートフォリオ（履修カルテ）の作成を通して、教員として求められる資質能力の育成を図っていくことが大切です。

これにより毎年度、授業科目ごとに振り返りを行い、何を学んだのかを振り返るとともに今後の課題を明確にして記録します。

さらに、自己評価シートで教員として求められる資質能力が身に付いているか自己評価を行い、その後の大学での学修の在り方等を考えます。なお、作成は次のように行います。

- 1) 1年次の前期における講義「教職概論」の授業において配付します。また、様式（電子データ）を [GoogleClassroom](#) で送信します。教職課程センター学生用PCからも様式を取得することができます。
- 2) 学年の終わりごとに、教職課程に関する履修科目の振り返りを行い、記入して [GoogleClassroom](#) に提出します。
- 3) 4年次の後期における演習「教職実践演習」の授業で使用します。
「教職実践演習」では、教職課程における他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され形成されたかについて、最終的に確認します。
このようにして、教職課程ポートフォリオ（履修カルテ）は、全学年を通じた教職課程の「学修の軌跡の集大成」として位置付けられます。

2. 教職課程に関する履修科目の振り返り

教育の基礎的理解に関する科目等

1年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
1	教職概論		2			
2	教育原理 I		2			
3	教育課程論		2			

教育の基礎的理解に関する科目等

2年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
4	教育原理Ⅱ		2			
5	教育方法論		1			
6	ICT 活用の理論と方法		2			

教育の基礎的理解に関する科目等

2年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
7	特別支援教育概論		1			
8	教育心理学		1			

各教科の指導法

2年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
9	情報科教育法 I		2			

教育の基礎的理解に関する科目等

3年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
10	特別活動論及び総合的な学習の時間指導論		2			
11	生徒指導論		2			
12	教育相談・進路指導論		2			

各教科の指導法

2年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
13	情報科教育法Ⅱ		2			

教育の基礎的理解に関する科目等

4年次					学んだこととその振り返り	今後の課題
科目名		教員名	単位数	単位修得 (☒)		
14	教育実習講義		1			
15	教育実習		2			
16	教職実践演習		2			

3. 自己評価シート

(1) 必要な資質能力についての自己評価

(5…よくできている、4…ある程度できている、3…できている、2…あまりできていない、1…努力を要する)

1～3年の振り返りを通して自分の姿を捉え、できていないことを明らかにし、4年の修了時に“3”以上の評価となるよう見通しをもって取り組むこと。

求められている教員としての資質能力					自己評価(5段階)			
					1年次 修了時	2年次 修了時	3年次 修了時	4年次 修了時
使命感や 責任感、 教育的愛情	学校教育に ついての 理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解する。	教職概論				
		教育の理念・教育史・思想の 理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得する。	教育原理Ⅰ				
		学校教育の社会的・制度的・ 経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得する。	教育原理Ⅱ				
生徒理解や 学級経営	子供につい ての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得する。	教育心理学				
		学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得する。					
		子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解する。	特別支援教育概論				
社会性や 対人関係 能力	他者との 協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができる。					
		保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解する。					
		共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができる。					
		他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができる。					
		役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つれたり、与えられた役割をきちんとこなすことができる。					
	コミュニケー ション	発達の段階に対応したコミュ ニケーション	子どもたちの発達の段階を考慮して、適切に接することができる。					
		子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができる。					
		公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができる。					
		社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身に付いている。					

(5…よくできている、4…ある程度できている、3…できている、2…あまりできていない、1…努力を要する)

1～3年の振り返りを通して自分の姿を捉え、できていないことを明らかにし、4年の修了時に“3”以上の評価となるよう見直しをもって取り組むこと。

1～3 年の振り返りを通して自分の姿を捉え、できていないことを明らかにし、4 年の修了時に” 3 ”以上の評価となるよう見通しをもって取り組むこと。					自己評価(5段階)				
求められている教員としての資質能力				特に関連する科目	1年次 修了時	2年次 修了時	3年次 修了時	4年次 修了時	
教科の 指導力	教科・教育 課程に関する基礎知 識・技能	情報	これまで履修した理科教育分野の内容について理解する。	情報科教育法Ⅰ、Ⅱ					
		教科書・学習指導要領	教科書や学習指導要領(理科編)の内容を理解する。	情報科教育法Ⅰ、Ⅱ					
		教育課程の構成に関する基礎 理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得する。	教育課程論					
		道徳教育(中免のみ) ・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得する。	特別活動及び総合的な 学習の時間指導論	—	—	—	—	
		総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得する。						
		情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得する。	教育方法論 ICT 活用の理論と方法 情報科教育法Ⅰ、Ⅱ 教育課程論					
		学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得する。						
	教育実践	教材分析能力	教材を分析することができる。		特別活動及び総合的な 学習の時間指導論				
		授業構想力	教材研究を生かした理科の授業を構想し、子供の反応を想定した指導案としてまとめることができる。						
		教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができる。						
		授業展開力	子供の反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができる。						
		表現技術力	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けている。						
生徒理解や 学級経営		学級経営力	学級経営案を作成することができる。						
使命感や 責任感、 教育的愛情	課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っている。						
		教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができています。	特別支援教育概論					

4. 介護等体験（中免のみ）

施設種別	養護学校又は施設名	主な活動内容	体験期間（日数）
県立	養護学校		年 ～ (2日間)
			年 ～ (5日間)

介護等体験7日間を通して、学んだこととその振り返り。

5. 教職に関する正課外の活動

学内外における教職課程の授業以外の、教職に関する活動がある場合は記載します。

活動名	活動時期	活動内容	学んだこととその振り返り
	～		
	～		
	～		

6. 教職を目指す上で課題と考えている事項

--

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次